

6 建 住 第 70 号 の 71

令 和 7 年 5 月 2 9 日

国民宿舎 あらふねリゾート

代表 渡辺 千鶴香 様

和歌山県知事職務代理者

和歌山県職員 福 本 仁 志

(公 印 省 略)

定期報告の建築物の改善について（通知）

建築基準法第 1 2 条の規定に基づき提出のありました、あなたが管理されている下記の建築物を防災面から審査した結果、改善すべきところは別記注意事項のとおりでありますので早期に必要な措置を講じてください。

記

建築物の名称	国民宿舎 あらふねリゾート
用 途	ホテル・旅館
台 帳 番 号	東 4 旅 1

※お知らせ

令和 3 年 1 月 1 日から報告書の様式が改正され、押印が不要となりました。

また、これに併せて、本県からの通知も公印省略としました。

別 記 (建築物)

台帳番号

東4旅1

注 意 事 項

内 容	
建築物を調査した者から下記のとおり、調査の状況について報告があったので、該当する事項について、必要な措置を講じてください。 なお、今後においても防災上適正な維持管理をされるとともに次回からの報告時期においても引き続き報告書を提出されますようお願いします。	
調査等の概要	指摘の内容
1 敷地及び地盤	指摘なし
2 建築物の外部	指摘なし
3 屋上及び屋根	指摘なし
4 建築物の内部	要是正の指摘あり
5 避難施設等	要是正の指摘あり
6 その他	指摘なし
7 石綿を添加した建築材料	指摘なし
8 耐震診断・耐震改修	措置済・対象外
9 備考	

※ 改修等について、不明な点があれば県庁建築住宅課又は振興局建設部建築課・建築グループまでお問い合わせください。

定期調査報告書

台帳 番号	東4	旅	1
----------	----	---	---

副

(第一面)

建築基準法第12条第1項の規定による定期調査の結果を報告します。
この報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

令和 7 年 4 月 22 日

特定行政庁 和歌山県知事 様

報告者氏名 国民宿舎あらふねリゾート代表 渡辺千鶴香

調査者氏名

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 コミシユクシアアラフネリゾート代表 渡辺千鶴香
【ロ. 氏名】 国民宿舎あらふねリゾート代表 渡辺千鶴香
【ハ. 郵便番号】 649-4112
【ニ. 住所】 和歌山県東牟婁郡串本町田原 2 5 1 8 - 1 2 5 1 9 - 1
【ホ. 電話番号】 0735-74-0124

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】
【ロ. 氏名】 同上
【ハ. 郵便番号】
【ニ. 住所】
【ホ. 電話番号】

【3. 調査者】

(代表となる調査者)

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第 126014 号
特定建築物調査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】 建築設計事務所
(一級) 建築士事務所 (和歌山県) 知事登録第 (イ) 号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】 和歌山県東牟婁郡
【ト. 電話番号】

(その他の調査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
特定建築物調査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
() 建築士事務所 () 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【4. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 和歌山県東牟婁郡串本町田原 2 5 1 8 - 1 2 5 1 9 - 1
【ロ. 名称のフリガナ】 コミシユクシアアラフネリゾート
【ハ. 名称】 国民宿舎あらふねリゾート
【ニ. 用途】 旅館

【5. 調査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘有り (☐ 既存不適格) ☐ 指摘無し
【ロ. 指摘の概要】 ローカ天井の雨漏れ 調理室天井張り替え

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 令和 年 月 に改善予定 ☒ 無
【ニ. その他特記事項】

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
令和 7 年 5 月 26 日 第 号 係員氏名		

※(一財)和歌山県
建築住宅防災センター欄

25.4.28

(センター業務登録
建第 652 号)

(第二面)

建築物及びその敷地に関する事項

【1. 敷地の位置】

【イ. 防火地域等】 ☐ 防火地域 ☐ 準防火地域
☐ その他 () ☒ 指定なし

【ロ. 用途地域】

【2. 建築物及びその敷地の概要】

【イ. 構造】 ☒ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造
☐ 鉄骨造 ☐ その他

【ロ. 階数】 地上 3 階 地下 階

【ハ. 敷地面積】 4704.97 m²

【ニ. 建築面積】 2432.94 m²

【ホ. 延べ面積】 4179.98 m²

【3. 階別用途別床面積】

(用途)

(床面積)

【イ. 階別用途別】	(3 階)	(旅館)	(818.07 m ²)
	塔屋	()	(37.52 m ²)
		()	(m ²)
	(2 階)	(旅館)	(818.07 m ²)
		()	(m ²)
		()	(m ²)
	(1 階)	(旅館)	(2276.56 m ²)
		()	(m ²)
		()	(m ²)
	(2 階)	(浴室)	(114.88 m ²)
	別館	()	(m ²)
		()	(m ²)
	(1 階)	(機械室)	(114.88 m ²)
		()	(m ²)
	合計	(旅館)	(4179.98 m ²)
【ロ. 用途別】	()	()	(m ²)
	()	()	(m ²)
	()	()	(m ²)

【4. 性能検証法等の適用】

☐ 耐火性能検証法 ☐ 防火区画検証法
☐ 区画避難安全検証法 (階) ☐ 階避難安全検証法 (階)
☐ 全館避難安全検証法 ☐ その他 ()

【5. 増築、改築、用途変更等の経過】

年	月	日	概要 ()
年	月	日	概要 ()
年	月	日	概要 ()
年	月	日	概要 ()

【6. 関連図書の整備状況】

【イ. 確認に要した図書】 ☒ 有 (☐ 各階平面図あり) ☐ 無
 【ロ. 確認済証】 ☒ 有 ☐ 無
 交付番号 平成 10 年 4 月 3 日 第 号
 交付者 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()
 【ハ. 完了検査に要した図書】 ☐ 有 ☒ 無
 【ニ. 検査済証】 ☐ 有 ☒ 無
 交付番号 平成 10 年 12 月 25 日 第 号
 交付者 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()
 【ホ. 維持保全に関する準則又は計画】 ☐ 有 ☒ 無
 【ヘ. 前回の調査に関する書類の写し】 ☒ 有 ☐ 無 ☐ 対象外

【7. 備考】

(第三面)

調査等の概要

【1. 調査及び検査の状況】

【イ. 今回の調査】 令和 7 年 4 月 22 日 実施
 【ロ. 前回の調査】 ☒ 実施 (5 年 11 月 20 日 報告) ☐ 未実施 ☐ 対象外
 【ハ. 建築設備の検査】 ☐ 実施 (年 月 日 報告) ☐ 未実施 ☐ 対象外
 【ニ. 昇降機等の検査】 ☐ 実施 (年 月 日 報告) ☐ 未実施 ☐ 対象外
 【ホ. 防火設備の検査】 ☐ 実施 (年 月 日 報告) ☐ 未実施 ☐ 対象外

【2. 調査の状況】

(敷地及び地盤)

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☒ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

(建築物の外部)

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☒ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

(屋上及び屋根)

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☒ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

(建築物の内部)

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】 ローカ天井雨漏れ調理室天井張り替え

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

(避難施設等)

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】 非常用照明の不備

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

(その他)

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☒ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

【3. 石綿を添加した建築材料の調査状況】 (該当する室)

【イ. 該当建築材料の有無】 ☐ 有 (飛散防止措置無) ()
☐ 有 (飛散防止措置有) ()
☒ 無

【ロ. 措置予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

【4. 耐震診断及び耐震改修の調査状況】

【イ. 耐震診断の実施の有無】 ☐ 有 ☐ 無 (年 月に実施予定) ☒ 対象外
 【ロ. 耐震改修の実施の有無】 ☐ 有 ☐ 無 (年 月に実施予定) ☒ 対象外

【5. 建築物等に係る不具合等の状況】

【イ. 不具合等】 ☒ 有 ☐ 無
 【ロ. 不具合の記録】 ☐ 有 ☐ 無
 【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月 日に改善予定)
☐ 予定なし (理由:)

【6. 備考】

(第四面)

建築物等に係る不具合等の状況

不具合等を 把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善（予定） 年月	改善措置の概要等
令和7年4月22日	天井雨漏れ調理室天井張	雨漏れ水漏れ		天井張り替え

国土交通省告示別記様式 特定建築物の調査結果

当該調査 に関与し た調査者	氏 名	調査者番号
	代表となる調査者	652
	その他の調査者	

番号	調 査 項 目		調査結果			担当 調査 番号	
			指摘 なし	要是正			
				既存 不適格			
1. 敷地及び地盤							
(1)	地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況	○				
(2)	敷地	敷地内の排水の状況	○				
(3)	敷地内の通路	敷地内の通路の確保の状況	○				
(4)		有効幅員の確保の状況	○				
(5)		敷地内の通路の支障物の状況	○				
(6)	塀等	組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況					
(7)		組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況					
(8)	擁壁	擁壁の劣化及び損傷の状況					
(9)		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況					
2. 建築物の外部							
(1)	基礎	基礎の沈下等の状況	○				
(2)		基礎の劣化及び損傷の状況	○				
(3)	土台（木造に限る。）	土台の沈下等の状況					
(4)		土台の劣化及び損傷の状況					
(5)	外 壁	外壁、軒裏及び外壁の開開口部で延焼のおそれのある部分の防火対策の状況	○				
(6)		木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況					
(7)		組積造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況					
(8)		補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況					
(9)		鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	○				
(10)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	○				
(11)		外装仕上材等	タイル、石貼り等（乾式工法によるものを除く。）、モルタル等の劣化及び損傷の状況	○			
(12)			乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の状況				
(13)			金属系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況				
(14)			コンクリート系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況	○			
(15)	窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況	○				
(16)		はめ殺し窓のガラスの固定の状況	○				
(17)	外壁に緊結された 広告板、空調室外機等	機器本体の劣化及び損傷の状況					
(18)		支持部分等の劣化及び損傷の状況					
3. 屋上及び屋根							
(1)	屋上面	屋上面の劣化及び損傷の状況	○				
(2)	屋上回り（屋上面を除く。）	パラペットの立ち上り面の劣化及び損傷の状況	○				
(3)		笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況	○				
(4)		金属笠木の劣化及び損傷の状況	○				
(5)		排水溝（ドレーンを含む。）の劣化及び損傷の状況	○				
(6)	屋根	屋根の防火対策の状況	○				
(7)		屋根の劣化及び損傷の状況	○				

番号	調 査 項 目		調査結果			担当 調査者 番号
			指摘 なし	要是正	既存 不適格	
(8)	機器及び工作物	機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況				
(9)	(冷却塔設備、広告塔等)	支持部分等の劣化及び損傷の状況				
4. 建築物の内部						
(1)	防火区画	令第112条第11項から第13項までに規定する区画の状況	○			
(2)		令第112条第1項、第4項、第5項又は第7項から第10項までの各項に規定する区画の状況				
(3)		令第112条第18項に規定する区画の状況				
(4)	防火区画の外周部	スパンドレル等の防火区画外周部の処置の状況				
(5)		スパンドレル等の劣化及び損傷の状況				
(6)	壁の室内に面する部分	躯体等				
(7)		木造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況				
(8)		組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況				
(9)		補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況				
(10)		鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	○			
(11)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	○			
(12)	耐火構造の壁又は準耐火構造の壁（防火区画を構成する壁等に限る。）	準耐火性能等の確保の状況				
(13)		部材の劣化及び損傷の状況				
(14)		鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況				
(15)		給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況				
(16)	令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁	令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁の状況				
(17)	令第128条の5各項に規定する建築物の壁の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上りの維持保全の状況				
(18)	床	躯体等				
(19)		木造の床躯体の劣化及び損傷の状況				
(20)		鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況	○			
(21)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況	○			
(22)	耐火構造の床又は準耐火構造の床（防火区画を構成する床に限る。）	準耐火性能等の確保の状況				
(23)		部材の劣化及び損傷の状況				
(24)		給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況				
(25)	天井	令第128条の5各項に規定する建築物の天井の室内に面する部分		○		
(26)		室内に面する部分の仕上りの劣化及び損傷の状況		○		
(27)	特定天井	特定天井の天井材の劣化及び損傷の状況				

番号	調 査 項 目		調査結果			担当 調査者 番号
			指摘 なし	要是正	既存 不適格	
(26)	防火設備（防火扉、防火シャッターその他これらに類するものに限る。）又は戸	区画に対応した防火設備又は戸の設置の状況	○			
(27)		居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の設置の状況	○			
(28)		昭和48年建設省告示第2563号第1第1号口に規定する基準への適合の状況	○			
(29)		防火扉又は戸の開放方向	○			
(30)		常時閉鎖又は作動をした状態にある防火設備又は戸（以下「常閉防火設備等」という。）の本体と枠の劣化及び損傷の状況	○			
(31)		常閉防火設備等の閉鎖又は作動の状況	○			
(32)		常閉防火設備等の閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況	○			
(33)		常閉防火設備等の固定の状況	○			
(34)	機器（照明器具、懸垂物等）	照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況	○			
(35)		防火設備又は戸の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況	○			
(36)	警報設備	警報設備の設置の状況				
(37)		警報設備の劣化及び損傷の状況				
(38)	居室の採光及び換気	採光のための開口部の面積の確保の状況	○			
(39)		採光の妨げとなる物品の放置の状況	○			
(40)		換気のための開口部の面積の確保の状況	○			
(41)		換気設備の設置の状況	○			
(42)		換気設備の作動の状況	○			
(43)		換気の妨げとなる物品の放置の状況	○			
(44)	石綿等を添加した建築材料	吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の0.1パーセントを超えるもの（以下「吹付け石綿等」という。）の使用の状況				
(45)		吹付け石綿等の劣化の状況				
(46)		除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の実施の状況				
(47)		囲い込み又は封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損傷の状況				
5. 避難施設等						
(1)	令第120条第2項に規定する通路		○			
(2)	廊下		○			
(3)	物品の放置の状況			○		
(4)	出入口		○			
(5)	物品の放置の状況		○			
(6)	屋上広場		○			
(7)	避難上有効なバルコニー		○			
(8)	手すり等の劣化及び損傷の状況		○			
(9)	物品の放置の状況		○			
(10)	避難器具の操作性の確保の状況		○			
(11)	階段	直通階段の設置の状況	○			
(12)		幅の確保の状況	○			
(13)		手すりの設置の状況	○			
(14)		物品の放置の状況	○			
(15)		階段各部の劣化及び損傷の状況	○			
(16)	屋内に設けられた避難階段	階段室の構造の状況	○			
(17)	屋外に設けられた避難階段	屋内と階段との間の防火区画の確保の状況				
(18)		開放性の確保の状況				

番号	調 査 項 目		調査結果			担当 調査者 番号	
			指摘 なし	要是正	既存 不適格		
(19)	特別避難階段	令123条第3項第1号に規定するバルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況					
(20)		階段又は付室（以下「付室等」という。）の排煙設備の設置の状況					
(21)		付室の排煙設備の作動の状況					
(22)		付室の外気に向かって開くことができる窓の状況					
(23)		物品の放置の状況					
(24)	排煙壁	防煙区画の設置の状況	○				
(25)		防煙壁の劣化及び損傷の状況	○				
(26)		可動式防煙壁の作動の状況	○				
(27)	排煙設備等	排煙設備の設置の状況	○				
(28)		排煙設備の作動の状況	○				
(29)		排煙口の維持保全の状況	○				
(30)	その他の設備等	非常用の進入口等の状況	○				
(31)		非常用の進入口等の維持保全の状況	○				
(32)		非常用エレベーター	乗降ロビーの構造及び面積の確保の状況				
(33)			昇降路又は乗降ロビー（以下「乗降ロビー等」という。）の排煙設備の設置の状況				
(34)		乗降ロビーの排煙設備の作動の状況					
(35)			乗降ロビーの外気に向かって開くことができる窓の状況				
(36)		物品の放置の状況					
(37)		非常用エレベーターの作動の状況					
(38)		非常用の照明装置	非常用の照明装置の設置の状況	○			
(39)			非常用の照明装置の作動の状況		○		
(40)	照明の妨げとなる物品の放置の状況		○				
6. その他							
(1)	特殊な構造等	膜構造建築物の膜体、取付部材等	膜体及び取付部材の劣化及び損傷の状況				
(2)		膜張力及びケーブル張力の状況					
(3)		免震構造建築物の免震層及び免震装置	免震装置の劣化及び損傷の状況（免震装置が可視状態にある場合に限る。）				
(4)		上部構造の可動の状況					
(5)	避雷設備の状況		避雷針、避雷導線等の劣化及び損傷の状況				
(6)	煙突	建築物に設ける煙突	煙突本体及び建築物との接合部の劣化及び損傷の状況				
(7)		付帯金属の劣化及び損傷の状況					
(8)		令第138条第1項第1号に掲げる煙突	煙突本体の劣化及び損傷の状況				
(9)		付帯金属の劣化及び損傷の状況					
7. 上記以外の調査項目							
8. その他確認事項							
法第12条第3項の規定による検査を要する防火設備の有無							
☒ 有（1.2.3 階） ☐ 無							
特記事項							
番号	調査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月			
23	ローカ調理室の天井		やり替え				
39	非常用照明器具不具		器具電池の取り替え				
5	ローカに物品等の放		取り除き				

番号	調査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善 (予定) 年月

(注意)

- ① この書類は、特定建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の2様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」欄に調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当調査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「調査結果」欄は、国土交通省告示の別表(イ)欄に掲げる各調査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、国土交通省告示の別表(イ)欄に掲げる調査項目について(ハ)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「調査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当調査者番号」欄は、「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 7「上記以外の調査項目」は、第一ただし書きにより特定行政庁が調査項目を追加したとき又は第一第二項により調査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した調査項目又は第一第二項に規定する図書に記載されている調査項目を追加し、⑤から⑧に準じて調査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、7は削除して構いません。
- ⑪ 「その他確認事項」は、法第12条第3項の規定による検査を要する随時閉鎖又は作動ができる防火設備の有無を確認し、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。「有」の場合は、当該防火設備が設置されている階を記入ください。
- ⑫ 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善(予定)年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入してください。
- ⑬ 指摘のあった箇所や撮影した写真との関係が分かる配置図及び各階平面図を別添1の様式に従い添付してください。
- ⑭ 要是正とされた調査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付してください。

番号	調査項目
1. 敷地及び地盤	
(1)	地盤
(2)	敷地
(3)から(5)	敷地内の通路
(6)から(7)	塀等
(8)から(9)	擁壁
2. 建築物の外部	
(1)から(2)	基礎
(3)から(4)	土台 (木造に限る。)
(5)から(18)	外壁
3. 屋上及び屋根	
(1)	屋上面の状況
(2)から(5)	屋上周りの状況 (屋上面を除く。)
(6)から(7)	屋根 (屋上面を除く。)
(8)から(9)	機器及び工作物 (冷却等設備、等)
4. 建築物の内部	
(1)から(5)	防火区画
(6)から(16)	壁の室内に面する部分
(17)から(22)	床
(23)から(25)	天井
(26)から(33)	防火設備又は戸
(34)から(35)	照明器具、懸垂物等
(36)から(37)	警報設備
(38)から(43)	居室の採光及び換気
(44)から(47)	石綿等を添加した建築材料
5. 避難施設等	
(1)	令第120条第2項に規定する通路
(2)から(3)	廊下
(4)から(5)	出入口
(6)	屋上広場
(7)から(10)	避難上有効なバルコニー
(11)から(23)	階段
(24)から(29)	排煙設備等
(30)から(40)	その他の設備等
6. その他	
(1)から(4)	特殊な構造等
(5)	避雷設備
(6)から(9)	煙突
7. 上記以外の調査項目	

注) 配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所 (特記すべき事項を含む) や撮影した写真の位置等を明記すること。

国土交通省告示別添2様式 関係写真

写真番号			
部位	番号	調査項目	調査結果
		廊下天井	☒ 要是正 ☐ その他
			特記事項
			ローカ天井の雨漏れ補修

写真番号			
部位	番号	調査項目	調査結果
		調理室天井	☒ 要是正 ☐ その他
			特記事項
			調理室天井張り替え

(注意)

- ①この書類は、調査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。
また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ②記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③「部位」欄の「番号」、「調査項目」は、それぞれ別記様式の番号、調査項目に対応したものを記入してください。
- ④「調査結果」欄は、調査の結果「要是正の指摘あり」の場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

定期調査票（標準様式1）

当該調査に 関与した 調査者	氏名	調査者番号
	代表となる調査者	652
	その他の調査者	

0. ヒアリング

1. 増築、改築、用途変更等の経過

昭和・平成・令和 年 月 日 概要（
 昭和・平成・令和 年 月 日 概要（
 昭和・平成・令和 年 月 日 概要（
 昭和・平成・令和 年 月 日 概要（

2. 関連図書の整備状況

【イ. 確認に要した図書】 ☒ 有（各階平面図あり） ☐ 無
 【ロ. 初回の確認済証】 ☒ 有 ☐ 無
 交付番号 昭和・平成・令和 10年 4月 3日 第3-2 号
 交付者 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関（
 【ハ. 直近の確認済証】 ☐ 有 ☐ 無
 交付番号 昭和・平成・令和 年 月 日 第
 交付者 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関（
 【ニ. 完了検査に要した図書】 ☐ 有 ☒ 無
 【ホ. 初回の検査済証】 ☐ 有 ☒ 無
 交付番号 昭和・平成・令和 10年 12月 25日 第12-1
 交付者 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関（
 【ヘ. 直近の検査済証】 ☐ 有 ☐ 無
 交付番号 昭和・平成・令和 年 月 日 第
 交付者 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関（
 【ト. 維持保全に関する準則又は計画】 ☐ 有 ☒ 無
 【チ. 前回の調査に関する書類の写し】 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 対象外

3. 調査及び検査の状況

【イ. 今回の調査】 令和 7年 4月 22日実施
 【ロ. 前回の調査】 ☒ 実施（平成・令和 5年 11月 20日報 ☐ 未実施 ☐ 対象外
 【ハ. 建築設備の検査】 ☐ 実施（平成・令和 年 月 日報告） ☐ 未実施 ☐ 対象外
 【ニ. 昇降機等の検査】 ☐ 実施（平成・令和 年 月 日報告） ☐ 未実施 ☐ 対象外
 【ホ. 防火設備の検査】 ☐ 実施（平成・令和 年 月 日報告） ☐ 未実施 ☐ 対象外

4. 石綿を添加した建築材料の調査状況（該当する室）

【イ. 該当建築材料の有無】 ☐ 有（飛散防止措置無）（
☐ 有（飛散防止措置有）（
☐ 無 ☐ 不明（令和 年 月に分析予定）
 【ロ. 措置予定の有無】 ☐ 有（令和 年 月に改善予定）
☐ 無

5. 耐震診断及び耐震改修の調査状況

【イ. 耐震診断の実施の有無】 ☐ 有 ☐ 無（令和 年 月に実施予定） ☒ 対象外
 【ロ. 耐震改修の実施の有無】 ☐ 有 ☐ 無（令和 年 月に実施予定） ☒ 対象外

6. 建築物等に係る不具合等の状況

【イ. 不具合等】 ☒ 有 ☐ 無
 【ロ. 不具合等の記録】 ☐ 有 ☐ 無
 【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定（令和 年 月に改善予定）
☐ 予定なし

1. 敷地及び地盤

番号	調査項目	対象外項目	結 果			状況、対策等	改善年月 (予定)	調査番号
			指摘なし	要正	既存不適格			
番号欄*:任意調査項目								
(1)	地盤 地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況		レ					
(2)	敷地 敷地内の排水の状況		レ					
(3)	令第128条に規定する通路 (以下敷地内の通路という)	敷地内の通路の確保の状況	レ					
(4)		有効幅員の確保の状況	レ					
(5)		敷地内の通路の支障物の状況	レ					
(6)	塀 組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の耐震対策の状況							
(7)		組積造の塀又は補強コンクリートブロック造の塀等の劣化及び損傷の状況						
(8)	擁壁 擁壁の劣化及び損傷の状況							
(9)		擁壁の水抜きパイプの維持保全の状況						
* (10)	屋外機器等 (配電塔、電力等引込柱、 外灯等)	機器本体の劣化及び損傷の状況						
* (11)		支持部分等の劣化及び損傷の状況						
* (12)	空地、通路等の管理状況	通路として利用上の障害物等はないか						
* (13)		空地、通路等の管理は適切か						
* (14)	舗装等の劣化及び損傷状況	舗装等にひび割れ、段差等はないか						
その他特記事項								

2. 建築物の外部

番 号	調査項目 番号欄*:任意調査項目	対 象 外 項 目	結 果			状 況、対策等	改善年月 (予定)	調 査 番 号
			指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格			
(1)	基礎	基礎の沈下等の状況		レ				
(2)		基礎の劣化及び損傷の状況		レ				
(3)	土台（木造に限る。）	土台の沈下等の状況						
(4)		土台の劣化及び損傷の状況						
(5)	外 壁	外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の防火対策の状況		レ				
(6)		木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況						
(7)		組積造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況						
(8)		補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況						
(9)		鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況		レ				
(10)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況		レ				
(11)	外装仕上げ材等	タイル、石貼り等（乾式工法によるものを除く。）、モルタル等の劣化及び損傷の状況		レ				
(12)		乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の状況						
(13)		金属系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況						
(14)		コンクリート系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況						
(15)	窓サッシ等	サッシ等の劣化及び損傷の状況		レ				
(16)		はめ殺し窓のガラスの固定状況		レ				

番 号	調査項目	対象 外項目	結 果			状況、対策等	改善年月 (予定)	調 査 番 号
			指 摘 なし	要 是 正	既 存 不 適 格			
番号欄 *: 任意調査項目								
(17)	外壁に緊結 された広告 板、空調室 外機	機器本体の劣化及び損傷の 状況						
(18)		支持部分等の劣化及び損傷の 状況						
* (19)	シーリング材等 の劣化及び損傷 状況	シーリング材の界面剥離、弾 力低下等は見られないか						
その他特記事項								

3. 屋上及び屋根

番号	調査項目	対象外項目	結 果			状況、対策等	改善年月 (予定)	調査番号
			指摘なし	要正	既存不適格			
番号欄 *: 任意調査項目								
(1)	屋上面	屋上面の劣化及び損傷の状況		レ				
(2)	屋上周り（屋上面を除く。）	パラペットの立ち上り面の劣化及び損傷の状況		レ				
(3)		笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況		レ				
(4)		金属笠木の劣化及び損傷の状況		レ				
(5)		排水溝（ドレーンを含む。）の劣化及び損傷の状況		レ				
(6)	屋根	屋根の防火対策の状況		レ				
(7)		屋根の劣化及び損傷の状況		レ				
(8)	機器及び工作物（冷却塔設備、広告塔等）	機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況						
(9)		支持部分等の劣化及び損傷の状況						
* (10)	露出防水層の劣化及び損傷状況	防水層に膨れ、ひび割れ、破断等はないか						
* (11)	出入口の状況	屋上の出入口の管理状況は適切か						
その他特記事項								

4. 建築物の内部

番号	調査項目 番号欄*:任意調査項目	対象外項目	結果			状況、対策等	改善年月 (予定)	調査番号
			指摘なし	要正	既存不適格			
(1)	防火区画 令第112条第11項から第13項までに規定する区画の状況		レ					
(2)	令第112条第1項、第4項、第5項又は第7項から第10項までの各項に規定する区画の状況							
(3)	令第112条第18項に規定する区画の状況							
(4)	防火区画の外周部 令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項に規定する防火設備の処置の状況							
(5)		令第112条第16項に規定する外壁等及び同条第17項に規定する防火設備の劣化及び損傷の状況						
(6)	壁の室内に面する部分 躯体等 木造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況							
(7)		組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
(8)		補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況						
(9)		鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	レ					
(10)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	レ					
(11)	耐火構造の壁又は準耐火構造の壁 (防火区画を構成する壁等に限る。)	準耐火性能等の確保の状況						
(12)		部材の劣化及び損傷の状況						
(13)		鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況						
(14)		給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填等の処理の状況						
(15)	令第114条に規定する界壁、間仕切壁、及び隔壁	界壁、間仕切壁、隔壁の状況	レ					

番 号	調査項目		対 象 外 項 目	結 果			状 況、 対 策 等	改 善 年 月 (予 定)	調 査 番 号	
				指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格				
番号欄 *: 任意調査項目										
(16)	令第128条の5各項に規定する建築物の壁の室内に面する部分	室内に面する部分の仕上の維持保全の状況		レ						
(17)	床 躯体等	木造の床躯体の劣化及び損傷の状況								
(18)		鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況		レ						
(19)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況		レ						
(20)	耐火構造の床又は準耐火構造の床（防火区画を構成する床に限る。）	準耐火性能等の確保の状況								
(21)		部材の劣化及び損傷の状況								
(22)		給水管、配電管その他の管又は風道の区間貫通部の充填等の処理の状況								
(23)	天井	令第128条の5各項に規定する建築物の天井の室内に面する部分		レ						
(24)		室内に面する部分の仕上の劣化及び損傷の状況			レ		ローカ天井雨漏れ調理室天井張り替え			
(25)		特定天井	特定天井の天井材の劣化及び損傷の状況							
(26)	防火設備（防火扉、防火シャッターその他これらに類するものに限る。）又は戸	区画に対応した防火設備又は戸の設置の状況		レ						
(27)		居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備又は戸におけるくぐり戸の設置の状況		レ						
(28)		昭和48年建設省告示第2563号第1第1号ロに規定する基準への適合の状況		レ						
(29)		防火扉又は戸の開放方向		レ						
(30)		常閉防火設備等の本体と枠の劣化及び損傷の状況		レ						

番 号	調査項目		対 象 外 項 目	結 果			状 況、 対 策 等	改 善 年 月 (予 定)	調 査 番 号
				指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格			
	番号欄 *：任意調査項目								
(31)		常閉防火設備等の閉鎖又は作動の状況		レ					
(32)		常閉防火設備等の閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況		レ					
(33)		常閉防火扉等の固定の状況		レ					
(34)	機器 (照明器具、 懸垂物等)	照明器具、懸垂物の落下防止対策の状況		レ					
(35)		防火設備又は戸の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況		レ					
(36)	警報設備	警報設備の設置の状況							
(37)		警報設備の劣化及び損傷の状況							
(38)	居室の採光及び換気	採光のための開口部の面積の確保の状況		レ					
(39)		採光の妨げとなる物品の放置の状況		レ					
(40)		換気のための開口部の面積の確保の状況		レ					
(41)		換気設備の設置の状況		レ					
(42)		換気設備の作動の状況		レ					
(43)		換気の妨げとなる物品の放置の状況		レ					
(44)	石綿等を添加した建築材料	吹付石綿及び吹付ロックウールでその含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1%を超えるもの（以下「吹付石綿等」という）の使用の状況							
(45)		吹付石綿等の劣化の状況							
(46)		除去又は囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の実施の状況							
(47)		囲い込み若しくは封じ込めによる飛散防止措置の劣化及び損傷の状況							

番 号	調査項目	対 象 外 項 目	結 果			状 況、 対 策 等	改 善 年 月 (予 定)	調 査 番 号
			指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格			
	番号欄 * : 任意調査項目							
* (48)	収納物の状況	防火戸に接近しすぎていないか						
* (49)	雨漏りの状況	外壁から雨漏りはないか						
* (50)		屋上部から雨漏りはないか						
* (51)	地下室への漏水の状況	地下室に外壁等からの漏水はないか						
その他特記事項								

5. 避難施設等

番号	調査項目		対象外項目	結果			状況、対策等	改善年月 (予定)	調査番号
				指摘なし	要正	既存不適格			
	番号欄*:任意調査項目								
(1)	令第120条第2項に規定する通路	令第120条第2項に規定する通路の確保の状況							
(2)	廊下	幅の確保の状況		レ					
(3)		物品の放置の状況		レ					
(4)	出入口	出入口の確保の状況		レ					
(5)		物品の放置の状況		レ					
(6)	屋上広場	屋上広場の確保の状況		レ					
(7)	避難上有効なバルコニー	避難上有効なバルコニーの確保の状況		レ					
(8)		手すり等の劣化及び損傷の状況		レ					
(9)		物品の放置の状況		レ					
(10)		避難器具の操作性の確保の状況		レ					
(11)	階段	直通階段の設置の状況		レ					
(12)		幅の確保の状況		レ					
(13)		手すりの設置の状況		レ					
(14)		物品の放置の状況		レ					
(15)		階段各部の劣化及び損傷の状況		レ					
(16)	屋内に設けられた避難階段	階段室の構造の状況		レ					

番 号	調査項目	対 象 外 項 目	結 果			状 況、 対 策 等	改 善 年 月 (予 定)	調 査 番 号
			指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格			
番号欄 * : 任意調査項目								
(17)	屋外に設けられた避難階段	屋内と階段との間の防火区画の確保の状況						
(18)		開放性の確保の状況						
(19)	特別避難階段	令123条第3項第1号に規定するバルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況						
(20)		階段又は付室（以下「付室等」という。）の排煙設備の設置の状況						
(21)		付室等の排煙設備の作動の状況						
(22)		付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況						
(23)		物品の放置の状況						
(24)	排煙設備等	防煙壁の状況						
(25)		防煙壁の劣化及び損傷の状況						
(26)		可動式防煙壁の作動の状況						
(27)	排煙設備	排煙設備の設置の状況		レ				
(28)		排煙設備の作動の状況		レ				
(29)		排煙口の維持保全の状況		レ				
(30)	その他の設備等	非常用の進入口等の設置の状況		レ				
(31)		非常用の進入口等の維持保全の状況		レ				
(32)	非常用エレベーター	乗降ロビーの構造及び面積の確保の状況						
(33)		昇降路又は乗降ロビー（以下「乗降ロビー等」という。）の排煙設備の設置の状況						

番 号	調査項目	対 象 外 項 目	結 果			状 況、対策等	改善年月 (予定)	調 査 番 号
			指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格			
	番号欄 *: 任意調査項目							
(34)	乗降ロビー等の排煙設備の作動の状況							
(35)	乗降ロビー等の外気に向かって開くことができる窓の状況							
(36)	物品の放置の状況							
(37)	非常用エレベーターの作動の状況							
(38)	非常用の照明装置	非常用の照明装置の設置の状況		レ				
(39)	非常用の照明装置の作動の状況			レ		器具の不具合		
(40)	照明の妨げとなる物品の放置の状況			レ				
その他特記事項								

6. その他

番 号	調査項目		対 象 外 項 目	結 果			状 況、 対 策 等	改 善 年 月 (予 定)	調 査 番 号
				指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格			
	番号欄 * : 任意調査項目								
(1)	特殊な構造等	膜構造建築物の膜体、取付部材等	膜体及び取付部材の劣化及び損傷の状況						
(2)			膜張力及びケーブル張力の状況						
(3)		免震構造建築物の免震層及び免震装置	免震装置の劣化及び損傷の状況（免震装置が可視状態にある場合に限る。）						
(4)			上部構造の可動の状況						
(5)	避雷設備		避雷針、避雷導線等の劣化及び損傷の状況						
(6)	煙突	建築物に設ける煙突	煙突本体及び建築物との接合部のひび割れ等の劣化及び損傷の状況						
(7)			付帯金属の劣化及び損傷の状況						
(8)		独立煙突 (令第138条第1項第1号)	煙突本体の劣化及び損傷の状況						
(9)			付帯金属の劣化及び損傷の状況						
* (10)	自動回転ドア	自動回転ドアの維持保全状況	自動回転ドアに異常、損傷はないか						
* (11)			自動回転ドア周辺の監視や安全な通行に関する表示等はあるか						
* (12)			危険領域に防護柵やガード等はあるか						
* (13)			接触センサーは作動するか						
* (14)			定期的な点検は実施しているか						

番 号	調査項目	対 象 外 項 目	結 果			状 況、対 策等	改 善 年 月 (予 定)	調 査 番 号
			指 摘 な し	要 是 正	既 存 不 適 格			
番号欄 *: 任意調査項目								
* (15)	管理用シャッター（重量もしくは軽量電動）の維持保全状況	本体と枠等の劣化及び損傷の状況						
* (16)		点検口の維持保全状況						
* (17)		スイッチ等の維持保全状況						
* (18)		駆動機構の状況						
* (19)		障害物感知装置の作動状況						
その他特記事項								

特 記 事 項（標準様式2）

特記事項				
番号	調査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定) 年月
	ローカ天井の雨漏れ	張り替え		
	調理室天井張り替え	張り替え		

備 考

(1) 定期調査票（標準様式1）の記入要領

① 「増築、改築、用途変更等の経過」欄

確認を要しない規模の増築や模様替え、構造上主要な部分や避難施設等の変更についても、可能な限りヒアリングを行い記入する。

② 「対象外項目」欄

該当しない調査項目については、「対象外項目」欄に「レ」マークを入れる。

③ 「結果」欄

定期調査結果の判定は国土交通省告示により判定を行う。

要是正の状況が発見された場合のみ「要是正」の欄に「レ」マークを入れ、それ以外の場合には「指摘なし」の欄に「レ」マークを入れる。

また、要是正又は特記すべき事項がある場合には、特記事項（標準様式2）に詳細な状況を記入し、その写真を関係写真（国土交通省告示別添2様式）に添付する。

④ 「状況、対策等」

定期調査の結果について、その状況を記入する。

また、要是正又は特記すべき事項がある場合には可能な限り、所有者又は管理者に改善方策等のアドバイスを記入する。

既存不適格についても、できるだけ早く改善することが望ましい旨も記入する。

なお、任意調査項目については、その状況と改善方策等のアドバイスを記入する。

⑤ 「改善予定年月日」欄

要是正又は特記すべき事項がある場合には、所有者又は管理者に改善予定年月日を確認して記入する。

⑥ 「調査者名」欄

「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36号の2様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」欄に調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。

⑦ 「その他特記事項」欄

調査票に記載のある調査項目又はそれ以外で、特記すべき事項がある場合記入する。

⑧ 「建築物に係る不具合等の状況」欄

屋根ふき材、内装材、外装材等及び広告塔、装飾等その他建築物の屋外に取り付けられたものの脱落、バルコニー、屋上等の手すりその他建築物の部分の脱落、防火設備等の異常動作等（以下、「不具合等」という。）を記入する。

⑨ 記入欄が不足する場合には、行を増やして記入するか、別紙に必要な事項を記入して添える。

(2) 特記事項（標準様式2）の記入要領

「特記事項」は、調査の結果要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合でも特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善（予定）年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入する。なお、調査の結果要是正の指摘があった場合において、改善予定がない場合は、「改善策の具体的内容等」欄にその理由を記入する。

特殊建築物等定期調査結果報告書（標準様式3）

令和 7 年 4 月 22 日

管 理 者（所有者）氏 名 様

調 査 者 所 属 名 称 1 級建築設計事務所

代表者氏名

調査者氏名

下記建築物について調査した結果は別紙のとおりです。

記

1. 建 築 物 名 称 国民宿舎あらふねリゾート

所 在 地 和歌山県東牟婁郡串本町田原2518-12519-1

調査年月日 令和 7 年 4 月 22 日 ～ 月 日

2. 調 査 者

（代表となる調査者）（番号 ）

【イ. 資格】 （1級 ） 建築士 （大臣 ） 登録第 号
特定建築物調査員 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 勤務先】 1 級建築設計事務所
（1 級 ） 建築士事務所 （和歌山県 ） 知事登録第（イ） 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】 和歌山県東牟婁郡

【ヘ. 電話番号】

（その他の調査者）（番号 ）

【イ. 資格】 （ ） 建築士 （ ） 登録第 号
特定建築物調査員 第 号

【ロ. 氏名】

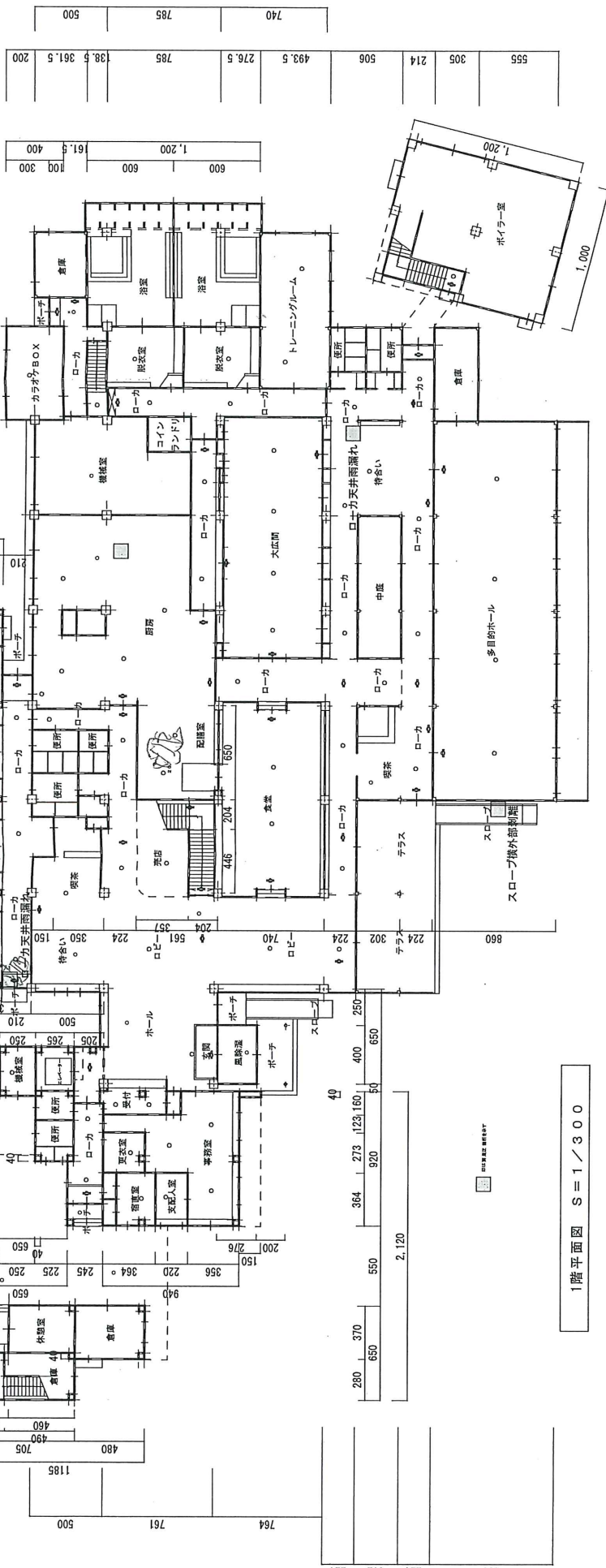
【ハ. 勤務先】
（ ） 建築士事務所 （ ） 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ヘ. 電話番号】





1階平面図 $S=1/300$

床面積計算表

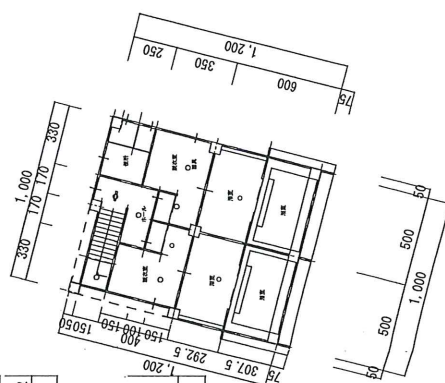
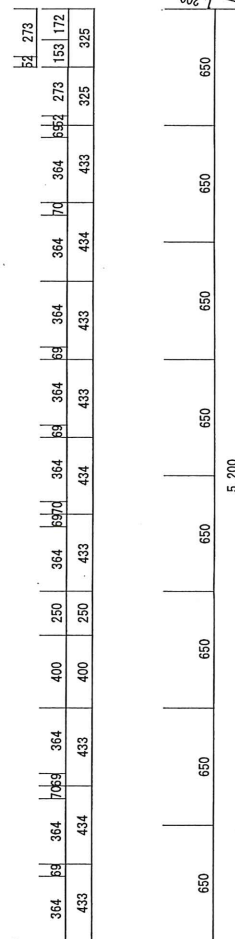
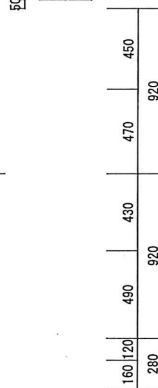
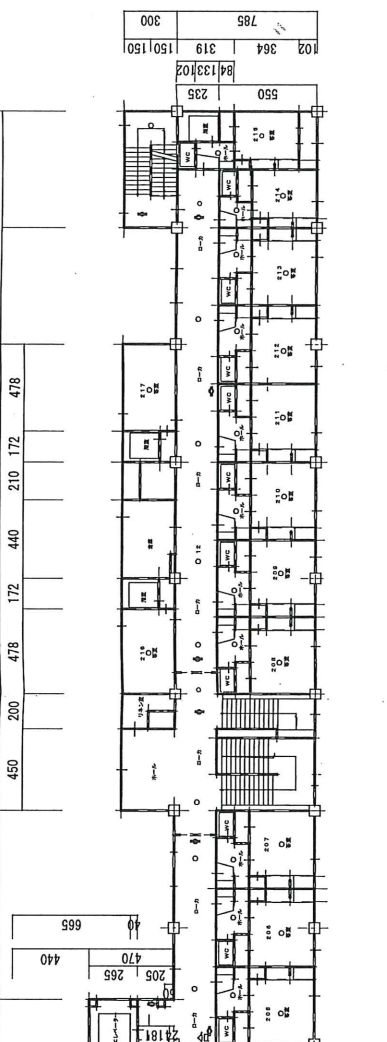
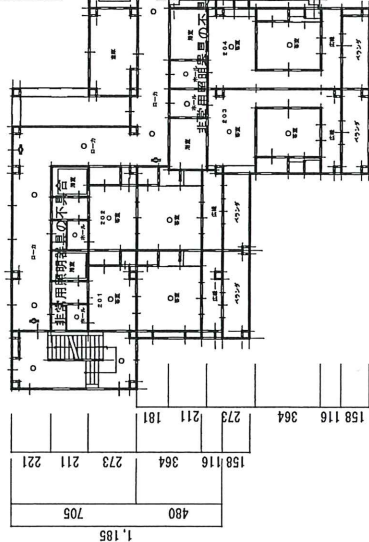
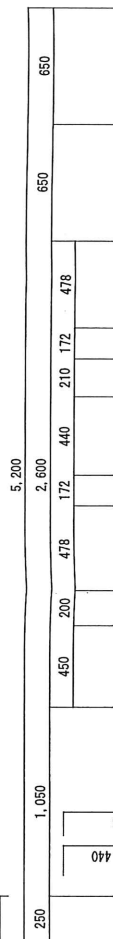
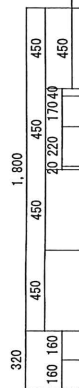
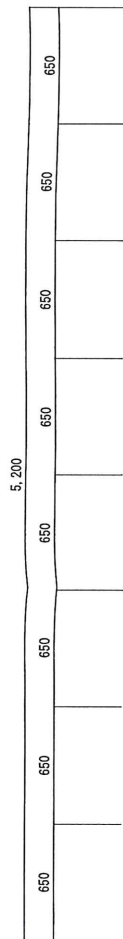
宿舎	1階	227	6.56	m2
	2階	818	.07	m2
	3階	818	.07	m2
	塔屋	37.52	m2	
	合計	3950.22	m2	
浴室	1階	114.88	m2	
	2階	114.88	m2	
	合計	229.76	m2	
	總合計	4179.98	m2	

1320	2630	510	530	120	200
------	------	-----	-----	-----	-----

[illegible]

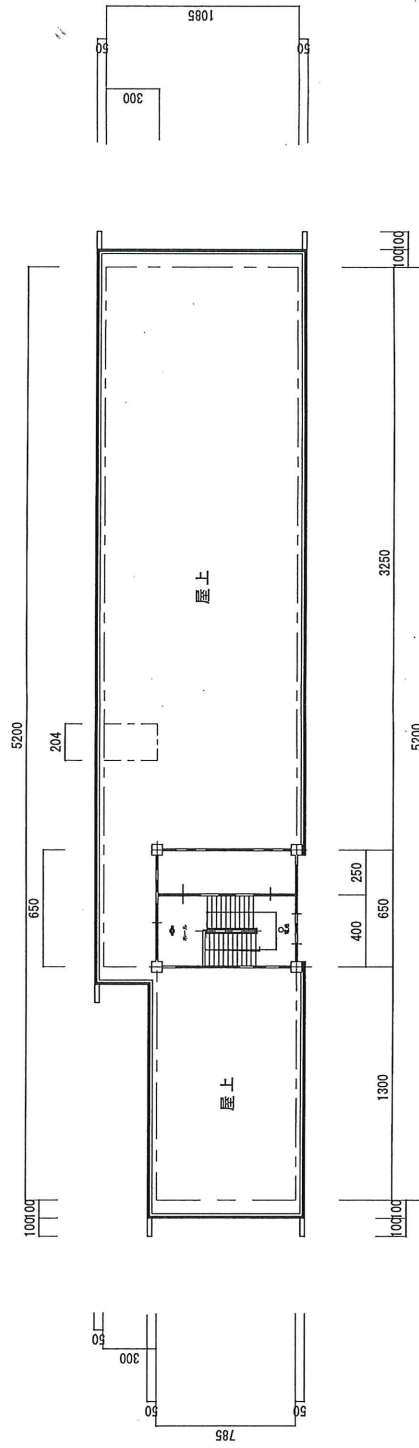
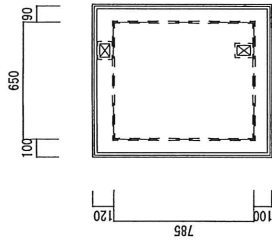
田徑四連	田徑半徑
------	------

田徑四連	田徑半徑
------	------



2階平面図 $S=1/300$





塔屋平面图 $S=1/300$